

作成日 2023年10月6日

安全データシート

1. 化学品および会社情報

| | |
|---------------|--|
| 化学品の名称 | 2-(4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン-2-イル)-5-(ヘキシルオキシ)フェノール |
| 製品名 | 2-(4,6-Diphenyl-1,3,5-triazin-2-yl)-5-(hexyloxy)phenol |
| 製品コード | F-020934 |
| SDS整理番号 | ZC23036-01 |
| 会社名称 | 善ケミカル株式会社 |
| 住所 | 東京都台東区台東2-30-2 善ビル3階 |
| 電話番号 | 03-3839-5861 |
| FAX番号 | 03-3839-5877 |
| 緊急連絡電話番号 | 03-3839-5861 |
| 推奨用途および使用上の制限 | 紫外線吸収剤 |

2. 危険有害性の要約

GHS分類

| | |
|-----------|--------------------|
| 物理化学的危険性 | 該当区分なし |
| 健康に対する有害性 | 該当区分なし |
| 環境に対する有害性 | 水生環境有害性 長期(慢性) 区分4 |

注) 上記のGHS分類で区分の記載がない危険有害性項目については「分類対象外」、「区分に該当しない」または「分類できない」に該当する。

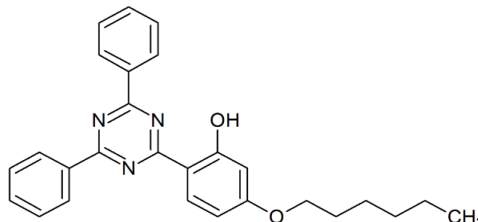
GHSラベル要素

| | |
|------------|--|
| 絵表示またはシンボル | なし |
| 注意喚起語 | なし |
| 危険有害性情報 | H413 長期継続的影響により水生生物に有害のおそれ |
| 注意書き | 【安全対策】 P273 環境への放出を避けること。 【応急措置】 なし 【保管】 なし 【廃棄】 P501 内容物、容器の廃棄を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。 |

3. 組成および成分情報

| | |
|-------------|--|
| 単一物質・混合物の区別 | 単一物質 |
| 化学名または一般名 | 2-(4,6-ジフェニル-1,3,5-トリアジン-2-イル)-5-(ヘキシルオキシ)フェノール |
| 慣用名または別名 | 2-(4,6-Diphenyl-1,3,5-triazin-2-yl)-5-hexyloxyphenol |
| CAS番号 | チヌビン1577(Tinuvin 1577)、UV-1577、DXSORB 1577 他 |
| 分子式(分子量) | 147315-50-2 C ₂₇ H ₂₇ N ₃ O ₂ (425.5) |

構造式または示性式



成分および濃度または濃度範囲

98.5%以上(HPLC)

官報公示整理番号

化審法： (5)-6473
安衛法： 8-(3)-843

4. 応急措置

| | |
|---------------------|--|
| 吸入した場合 | 被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 |
| 皮膚に付着した場合 | 医師に連絡すること。 皮膚を多量の水と石けんで十分に洗うこと。 |
| 眼に入った場合 | 医師に連絡すること。 水で15分以上注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 |
| 飲み込んだ場合 | 医師に連絡すること。 口をすすぐこと。 |
| 応急措置をする者の保護に必要な注意事項 | 医師に連絡すること。 適切な保護具を着用する。 |

5. 火災時の措置

| | |
|------------------------|---|
| 適切な消火剤 | 水噴霧、耐アルコール泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素 |
| 使ってはならない消火剤 | データなし |
| 火災時の特有の危険有害性 | 炭素酸化物、窒素酸化物の発生の可能性あり。 |
| 特有の消火方法 | 関係者以外は安全な場所に退去させること。 消火作業は風上の安全な地点から行き、周囲の状況に応じた適切な消火方法を用いること。 |
| 消火活動を行う者の特別な保護具および予防措置 | 消火活動時には必要に応じて 自給式呼吸装置を装着すること。 |

6. 漏出時の措置

| | |
|------------------------|--|
| 人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置 | 個人用保護具を着用すること。 漏出した場所の周辺にロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。 |
| 環境に対する注意事項 | 漏出場所の風上から作業を行い、風下の人を退避させること。 環境中に放出しないこと。 |
| 封じ込めおよび浄化の方法および機材 | 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐこと。 付着物、回収物などは関係法規に基づき速やかに処分すること。 粉じんを発生させないように留意して回収し、廃棄すること。 |

7. 取扱いおよび保管上の注意

| | | |
|-------|----------|---|
| 取扱い | | |
| 技術的対策 | 安全取扱注意事項 | 粉じんが発生する場所では、換気を適切に行うこと。 適切な保護具を着用すること。 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。 |
| 衛生対策 | | 粉じん、ガス、ミスト、蒸気、スプレーなどを吸入しないこと。 この製品を使用するときに飲食または喫煙をしないこと。 取扱い後は手や顔など、露出した部分をよく洗い、うがいをすること。 |
| 保管 | 安全な保管条件 | 容器を密閉し、冷暗所に保管すること。 換気の良い場所で保管すること。 |

8. ばく露防止および保護措置

| | | |
|------|--|--|
| 管理濃度 | | 設定されていない。 |
| 設備対策 | | ばく露を防止するため、装置、機器の密閉化あるいは局所排気装置を設置すること。 この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。 |
| 保護具 | 呼吸用保護具 手の保護具 眼、顔面の保護具 皮膚および身体の保護具 | 防毒マスク、自給式呼吸器、送気マスク等。 不浸透性の手袋。 保護眼鏡。状況に応じ保護 不浸透性の保護衣。状況に応じ、保護長靴。 |

9. 物理的および化学的性質

| | |
|------|-------|
| 物理状態 | 固体 |
| 形状 | 粉末 |
| 色 | 淡黄色 |
| 臭い | データなし |

| | |
|----------------------|-------------------------|
| 融点/凝固点 | 147°C ~ 151°C |
| 沸点または初留点および沸点範囲 | データなし |
| 可燃性 | データなし |
| 爆発下限界および爆発上限界/可燃限界 | データなし |
| 引火点 | データなし |
| 自然発火点 | データなし |
| 分解温度 | データなし |
| pH | データなし |
| 粘性率 | データなし |
| 動粘性率 | データなし |
| 溶解度 | |
| [水] | データなし |
| [その他の溶剤] | データなし |
| 可溶: | データなし |
| n-オクタノール/水分配係数(log値) | データなし |
| 蒸気圧 | データなし |
| 密度および/または相対密度(g/ml) | 1.190 g/cm ³ |
| 相対ガス密度 | データなし |
| 粒子特性 | データなし |

10. 安定性および反応性

| | |
|------------|----------------------------------|
| 反応性 | データなし |
| 化学的安定性 | 適切な条件下においては安定。 |
| 危険有害反応可能性 | データなし |
| 避けるべき条件 | データなし |
| 混触危険物質 | 強酸化剤 |
| 危険有害な分解生成物 | 火災条件下で生成される危険な分解生成物: 炭素酸化物、窒素酸化物 |

11. 有害性情報

| | | |
|------------------|----|--|
| 急性毒性 | 経口 | LD50(ラット - オスおよびメス): > 2,000 mg/kg (OECD 試験ガイドライン 401) |
| | 経皮 | LD50(ラット - オスおよびメス): > 1,333 mg/kg (OECD 試験ガイドライン 402) |
| | 吸入 | データなし |
| 皮膚腐食性/刺激性 | | (ウサギ)皮膚刺激なし(OECD 試験ガイドライン 404) |
| 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 | | (ウサギ)眼への刺激なし(OECD 試験ガイドライン 405) |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性 | | マキシマイゼーション試験: (モルモット)感作性なし。(OECD 試験ガイドライン 406) |
| 生殖細胞変異原性 | | 試験タイプ: in vitroアッセイ、テストシステム: 線維芽細胞 代謝活性化: 代謝活性化の存在または不存在、結果: 陰性 |
| 発がん性 | | データなし |
| 生殖毒性 | | データなし |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | | データなし |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | | データなし |
| 誤えん有害性 | | データなし |

12. 環境影響情報

| | | |
|------------|--|--|
| 生態毒性 | | |
| 魚類 | | 止水式試験 EC50 - Danio rerio (ゼブラフィッシュ) - > 9.2 mg/l - 96 h (OECD 試験ガイドライン 203) |
| 甲殻類 | | 止水式試験 EC50 - Daphnia magna (オオミジンコ) - > 100 mg/l - 48 h (OECD 試験ガイドライン 202) |
| 藻類 | | 止水式試験 EC50 - Desmodesmus subspicatus(セネデスムス・サブスピカトゥス) - > 100 mg/l - 72 h (OECD 試験ガイドライン 201) |
| 残留性・分解性 | | 好気性 - ばく露時間 28 d、結果: 0 % - 易分解性ではない。 (OECD テスト ガイドライン 301B) |
| 生物蓄積性(BCF) | | データなし |
| 土壤中の移動性 | | データなし |
| オゾン層への有害性 | | 当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。 |

13. 廃棄上の注意

| | |
|-------|---|
| 残余廃棄物 | 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 廃棄に際しては適切な保護具を着用すること。 |
|-------|---|

汚染容器および包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、またはリサイクルに関する情報

廃棄の前に可能な限り無害化、安定化および中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にすること。

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行うこと。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意**国際規制**

| | |
|------|----|
| 国連番号 | なし |
| 国連分類 | なし |

輸送または輸送手段に関する特別な安全対策 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にすること。
重量物を上積みしないこと。

15. 適用法令

適用法令なし

16. その他の情報**主な参考文献**

独立行政法人製品評価技術基盤機構 NITE統合版(2023/10/06アクセス)

ウェブサイト "PubChem"(2023/10/06 アクセス)

ウェブサイト "J-GLOBAL"(2023/10/06 アクセス)

安全データシート "2-(4,6-Diphenyl-1,3,5-triazin-2-yl)-5-

[(hexyl)oxy]-phenol", Sigma-Aldrich 2023/02/12 改訂版

安全データシート "UV-1577", Chemical Book 2023/02/15 改訂版

SAFETY DATA SHEET (2-(4,6-Diphenyl-1,3,5-triazin-2-yl)-5-[(hexyl)oxy]-phenol), SAREX OVERSEAS, Revised on 2022/07/30

記載内容の取扱いについて

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

改訂履歴 2023年10月6日 作成